

下越福祉行政組合

救護施設 ひまわり荘

介護員 久保田 幸喜

令和2年度採用



◆仕事内容◆

救護施設は、身体や精神の障害や、何らかの課題（生きづらさ）を抱えていて、日常生活を営むことが困難な方たちが利用している福祉施設です。

利用者一人ひとりのその人らしい豊かな生活の実現に向けて、日常生活支援や生産活動等を通して生活の基盤を整え、就労や地域生活移行など、利用者の目標や意向に沿ってそれぞれの自立を目指した取り組みを行っています。

救護施設を利用する方は、身体障害・知的障害・精神障害といった障害の種類による対象者の限定はありません。実際に、救護施設には、身体障害のある人（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、等）、知的障害のある人、精神障害のある人、それらの障害を重複して持つ人、アルコール依存症の人、ホームレスの人など、多様で複合的な課題を持つ人々が生活しています。

支援を必要としている方を幅広く受け入れる救護施設は“地域におけるセーフティネット”として、命と生活そのものを支える存在となっています。

◆仕事の魅力◆

介護職の中で、唯一国家資格を要する仕事が、介護福祉士です。身体的、精神的な障害により介護を必要とする人が、自立した生活、あるいは、その人らしい生活を送れるようサポートすることが、私の仕事です。

利用者の生活を支援する介護職は、業務の一つひとつで利用者と関わりを持ちます。普段から利用者の生活に寄り添う中で、利用者

や家族から信頼され、「ありがとう」の感謝の言葉を言ってもらえることは、介護の仕事を行う上で、大きなやりがいとなります。誰かの役に立っている、自分を必要としている人がいる、と直接実感することができます。



◆スケジュール◆

8:30	職員朝会
8:45	居室朝会
9:00	給湯器扉 開閉 排泄支援
9:30	ラジオ体操・歩行運動 水分補給
10:00	入浴(月・水・金曜日)
11:10	昼食準備
12:30	食堂清掃 昼休憩
13:30	給湯器扉 開閉 排泄支援
13:45	クラブ活動(火曜日) おやつ準備 水分補給 入浴(月・金曜日)
15:30	排泄支援
16:00	ミーティング
16:45	夕食準備
17:15	引継ぎ 退勤

◆当組合を目指す人へメッセージ◆

私は正社員として、障害者支援施設 7 年、特別養護老人ホーム 13 年の経験を得て、20 年勤務した社会福祉法人を退職し、21 年目を下越福祉行政組合（救護施設ひまわり荘）で迎えました。

社会人経験者の中途採用の転職は、職場風土や自治体の慣習などの違いもあり、戸惑いを覚える場面も少なくはありませんが、民間企業が求める効率性や利潤の追求ではなく、住民福祉の増進を第 1 の目的とする自治体の視点には、福祉の専門職として大きな魅力があります。

また、1 つの場所だけではなく、さまざまな事業所を知り、色々な人間関係を築くことは、社会人としても、ひとりの人間としても、自分自身を成長させてくれる良い機会となります。

今、当組合が求める人材は、「自ら学び、自ら考え、何事もチャンスと捉え挑戦する人」です。地域のために、公の施設で一緒に働きませんか？